



カロライトは1980年代に米国において空気浄化に対する市民運動の高まりと、新技術からの要求とにより、触媒方式による空気浄化装置への適用を目的として開発されました。

米国においては上下水浄化プラントのオゾン発生設備の排オゾン処理用に指定されるほど広く活用されております。一方日本における排オゾン処理は現在では活性炭が主体ですが、酸化消費によりランニングコストが高くなり、最近では環境面から廃棄物処理が問題化され始めております。

ゼネコンの研究所・試験施設、建材メーカーの製造工場、精密機器の洗浄排水施設をはじめとして、製品研究所や製造現場での排水処理をコストダウンする為にカロライトを導入するお客様が急増しています。

機能

カロライトの適用例

- ・上下水浄化プラント／し尿3次処理における排オゾン処理
- ・大型印刷工場設備における脱オゾン処理(機械の劣化防止)

臭気物質の処理も可能です

- ・アセトン ・ベンゼン ・一酸化炭素 ・エチレン ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・セルソルベなど

低ランニングコスト

従来の活性炭に比べ、使用量・酸化消費度に優れておりランニングコストの低減が見込まれますと共に廃棄物の低減にも役立ちます

